

町立学校給食栄養管理システム導入業務委託

仕様書

令和5年 12 月

忠岡町教育委員会 教育みらい課

1. 業務名称

町立学校給食栄養管理システム導入業務委託

2. 業務概要

(1) 新システム導入の目的

学校給食の献立作成にあたり、現在は、大阪府学校給食会の提供する無償貸与システムを利用しているが、令和6年度で提供が終了する。システムは機能的に限界があるため、献立作成に膨大な時間を要している一方、食物アレルギー対応が必要な児童生徒は増え、対応も多様化してきており、安全安心な学校給食の運営が揺らぎかねない。

このようなことから、新たなシステムを導入し、学校給食献立システムの機能性の向上及び利便性の確保、ひいては安全安心な学校給食の運営を実現することを目的として、町立学校給食栄養管理システム導入業務委託（以下「本業務」）を行うものである。

(2) 学校給食概要

本町の学校給食は、自校方式で実施しており、本業務のシステム対象となるのは、小学校（2校）、中学校（1校）である。

小学校及び中学校は、週5日の完全給食（パン又は米飯・牛乳・副食）を基本としている。

3. 導入物品及び数量

導入するシステムは、次のとおりであり「6 要求仕様」に定める仕様を満たすものとする。
なお、費用には、システムを利用するために必要となるサーバー機へのデータベース構築費用、セットアップに係る費用、及びサポートサービス等の一切の必要費用を含むものとする。

ただし、システムを稼働させるためのサーバー機器、各PC、サーバー端末間のイントラネットの環境については既存のものを使用することとする。

- (1) 学校給食管理システム 一式
製品利用端末 3台

4. 導入場所

小学校2箇所、中学校1箇所 計3箇所

5. 納入期限

令和6年3月31日

6. 要求仕様

(1) 機能及び性能について、別紙1に示す仕様を全て満たしているものであること。

(2) 機能及び性能以外の仕様について

- ① セットアップについて、別紙2に示す条件に従い、納入期限までにシステムが使用可能な状態にすること。
- ② サポートサービスについて、導入物品の機能を十分に発揮させることができるよう、別紙3に示すサポートサービスを実施すること。

※導入システムの運用開始は令和6年4月以降とする。

7. 準拠する法令等

- (1) 健康増進法
- (2) 著作権法
- (3) 忠岡町契約規則
- (4) その他関係法令及び通達等

8. 疑義

本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、受注者と本町の協議により決定するものとし、受注者の負担において、実施するものとする。

9. 報告の義務

本作業実施期間中においても、受注者は作業の新着状況を随時報告するものとし、必要に応じて、本町へ報告書を提出するものとする。

10. 秘密の保持

受注者は本作業中に知り得た情報を、本町の許可なしに他に漏らしたり、利用したりしてはならない。

11. 完了

受注者は、本業務完了後、検査を受けるものとし、適正に納品されること及び本システムの安定稼働をもって検査完了条件とする。

12. 瑕疵等

受注者は本業務完了後、受注者の瑕疵等に起因する不良な箇所が発見された場合は、速やかに本町の必要と認める修正その他必要な作業を受注者の負担において行うものとする。

13. その他

- (1) 業務の遂行にあたっては、教育みらい課の担当者の指示に従い、本町の服務規律、情報セキュリティポリシー及び環境保全に向けた取り組みを遵守すること。
- (2) 端末へのセットアップに係る経費は受注者の負担で行うこと。
- (3) 導入するシステムについては、導入スケジュールやシステムの安定稼働及び信頼性を目的として、パッケージソフトを基本としつつ、本町の要求事項に適合させること。
- (4) システムを動作させるために、特殊なソフトウェアの追加が不要なシステムであること。
- (5) 製品利用端末及びプリンターは、各学校にて現在設置しているものを使用するものとし、システムの利用、印刷等がこれらの機器で正常にできること。
- (6) システムを使用する製品利用端末の台数は、3台とする。
- (7) 3台の製品利用端末については、同時にシステムを利用でき、更新したデータが速やかに共有される構成とすること。
- (8) 各製品利用端末で作成するデータを共有できるシステムであること。
- (9) その他不明な点は、教育みらい課の担当者と協議すること。

1 システムの概要及び基本要件

1. ソフトウェアは以下の要件を満たすこと。

1-1. システム全般

- 1-1-1. 操作性がよく、長時間の使用にも疲れにくい画面レイアウトであること。
- 1-1-2. 複数の単独校（3か所）の献立・発注栄養管理ができること。
- 1-1-3. システムの起動時にユーザーIDとパスワードを利用したログイン機能を有すること。
- 1-1-4. データ削除処理の際には事前に確認メッセージを表示すること。
- 1-1-5. 当月から将来日時の献立作成処理を行う時は、登録可能期間に制限がないこと。
- 1-1-6. 外部記憶装置（ハードディスク）へのバックアップ機能を有していること
- 1-1-7. 基本メニューの総合画面を設け、各詳細 業務メニューへ切り替わること。
- 1-1-8. 端末間で入力したデータをサーバー上に登録でき、他端末での登録情報によりデータの自動更新が可能なシステムであること
- 1-1-9. 大阪府学校給食会が提供している学校給食管理システム「大阪 Q ネット」から献立・料理・食品データのデータコンバートを行うこと
データコンバートが困難な場合は、最低1年間の献立等のデータの移行を保証すること

2 システムの詳細要件

2-1. 学校データ

- 2-1-1. 学校情報の登録が随時できること
 - ・管理対象とする学校の登録ができること
 - ・献立タイプ、発注タイプを、（個別/一括）から選択できること
 - ・学校ごとの、クラス数設定が年度ごと変更できること
- 2-1-2. 献立種類の設定ができること
 - ・通常献立、アレルギー対応食等の複数の献立分類を作成できること
 - ・統一献立のほか、学校毎に、献立内容を変更できる個別献立の選択ができること
- 2-1-3. 発注方法の設定ができること
 - ・一括発注のほか、学校毎に、納入業者を変更できる個別発注の選択ができること
- 2-1-4. 学齢区分比率の設定ができること
 - ・学齢区分ごとに、1人分の基本分量とする比率設定ができること
 - ・料理/食品ごとに、個別に比率設定ができること
- 2-1-5. 担当者の設定ができること
 - ・担当者を複数登録できること
 - ・担当者ごとに担当する学校、料理集の設定や、編集/参照/参照不可などの権限設定もできること

2-2. 献立作成

- 2-2-1. 月間献立登録画面での献立登録ができること
 - ・カレンダー形式の献立画面での献立作成が、マウスの簡単操作でできること
（料理検索入力・1日単位での料理入替、料理コピー、料理移動、料理削除、料理順入替、食品置き換え、食品分量変更）
 - ・料理名称と共に主要なタンパク源をキャラクター（牛、豚、鶏、魚、卵など）で

表示し、食材の重なりを一見して確認できること

- ・アレルギー、単価、栄養価などの表示選択ができること
- ・カレンダー表示（月曜始まり、日曜始まり）の選択と、最大6週間の献立表示ができること
- ・月間カレンダー画面をそのままエクセル帳票として出力ができること
- ・指定した食材、料理名、材料区分での重なりをカラーで個別に表示し、重複チェックが画面で確認でき、重複食材・料理について、画面上で置き換えができること
- ・操作の取り消し、取り消し操作のやり直し操作での献立編集ができること
- ・画面表示する文字サイズが、3段階で大きく表示できること

2-2-2. 日々の献立登録が詳細にできること

- ・材料や分量、料理名など、料理の一時的な変更ができること
(料理カードでの変更は不要)
- ・献立登録で入力した料理内容を、そのまま料理マスターとして登録できること。
また、献立登録画面で変更した内容を、料理マスターに反映できること
- ・日々の料理の作り方の登録が、料理カード登録の作り方を基に簡単に変更できること
- ・献立登録画面に、指定学齢一人分の概算価格を表示できること
- ・基準となる年齢区分の献立を作成すると、比率により年齢区分の食材分量を自動的計算表示できること
- ・表示項目の選択が出来、確認したい項目に合わせて切り替え表示ができること（アレルギー情報・年齢別分量・食材情報・調理コメント・調理条件・食品群・栄養値、印刷用名称 等）
- ・献立摂取値と摂取基準値（登録済み摂取基準値を選択）を年齢区分別にレーダーチャートで表示でき、確認しながら献立作成ができること
- ・アレルギーの有る食材を使用した場合、献立画面で確認できること
- ・他食種やアレルギー対応食から日毎に献立コピーができること
- ・一覧表示した月間献立の、栄養価や概算価格などの平均値表示ができること
- ・アレルギーを含む食品について、該当物質をアレルギー設定した児童人数が献立作成の際に確認ができること

2-2-3. アレルギー対応食作成ができること

- ・指定したアレルギー物質（アレルギーパターン）に対しての対応食作成をおこなうか、児童のアレルギー設定状況でアレルギーパターンを自動作成するかを選択ができること
- ・指定したアレルギー物質（アレルギーパターン）に対しての対応食作成の場合、献立ブロックごとにアレルギーパターンの設定ができること。
※複数パターンの登録ができること
- ・料理毎にアレルギーパターンごとにアレルギー対応食を自動作成し、対応状況、対応方法、作り方の登録ができること
- ・前回のアレルギー対応食内容の取込みができること
- ・通常食の献立作成時に、アレルギー該当児童の人数を表示できること
- ・アレルギー管理をおこなう児童ごとに、個人の喫食管理画面上での喫食管理入力ができること
- ・個人の喫食管理画面は、初期表示で、アレルギー状況により喫食可能な食事情報を自動選択表示し、喫食内容の変更入力ができること
- ・アレルギー管理対象児童の家庭配布（確認）用帳票、喫食確認、配食確認、食札や個人票などの配食確認帳票の作成ができること

2-2-4. 献立コピーができること

- ・日毎の献立コピーの他、期間を指定しての献立一括コピー、サンプル献立コピーができること
- ・期間を指定しての献立一括コピーの際は、最新の料理マスター内容を反映してコピーする選択ができること

2-2-5. サンプル献立の作成ができること

- ・月ごとにサンプルとなる献立を、あらかじめ作成登録ができること
(料理区分ごとに各 26 種類)

2-3. 料理データ

2-3-1. 料理データの登録

- ・料理データは随時登録でき、目的に応じた検索区分（調理、材料、季節、料理、任意設定可能な区分等）別に分類登録ができること
- ・登録する数に制限がないこと

2-3-2. 枝番料理の登録

- ・料理毎に枝番料理を追加登録でき、学齢別に指定しての献立自動展開ができること

2-3-3. 料理カードの複写

- ・料理データの効率的な登録ができること（登録済み料理データの使用食品/分量などを変更しての別名登録）

2-3-4. 使用食品の変更

- ・使用食品の変更が簡単にできること
- ・使用食品の一括置換えができること

2-3-5. 作り方／コメントの登録

- ・料理毎に（作り方/メモ/食品ごとコメント/作業工程/画像など）の登録ができ、調理指示書などへの出力ができること

2-3-6. 料理の使用履歴

- ・料理の使用履歴を表示できること

2-3-7. 料理検索

- ・検索方法は（直接入力/検索ウィンドウでの絞り込み表示）から選択できること
- ・多様な検索キー（50 音/料理名/よく使う料理/調理区分/季節区分/任意設定の区分）などでの検索ができること

2-3-8. 一覧画面表示

- ・一覧画面に、登録料理を一覧表示でき、編集ができること
- ・一覧画面での絞り込み検索（検索区分、名称など）ができること
- ・一覧画面から、料理データへのジャンプができ、参照のほか編集・登録できること
- ・一覧画面上で、指定した料理の一括削除ができること

2-4. 食品データ

2-4-1. 登録済み食品データ

- ・「日本食品標準成分表 2020 年版(八訂)」の食品データを収録済みであること

2-4-2. 食品データの編集

- ・食品名変更、成分値修正（廃棄率など）などができること

2-4-3. オリジナル食品の登録

- ・食品を随時追加登録できること

2-4-4. 食品検索方法

- ・食品群/食品名/50 音順/よく使う食品 などでの検索ができること

- 2-4-5. 食品の非表示設定
 - ・必要に応じて登録済み食品の検索表示/非表示の設定ができること
- 2-4-6. 3つの基礎食品群、6群の登録
 - ・赤/黄/緑/その他の食品群の設定、6群の設定ができること
- 2-4-7. アレルギー設定
 - ・28品目のアレルゲンのデータを登録済みであること
 - ・一覧画面での食品データへのアレルゲン情報登録ができること
 - ・食品データへのアレルゲン登録状況がデータ出力できること
 - ・必要に応じて変更・追加が随時できること
 - ・アレルギー情報登録漏れ防止の為、アレルギー情報の登録確認メッセージを表示できること
- 2-4-8. 形状・規格の設定
 - ・形状や規格違いの食品は、形状・規格の入力で簡単に食品データの追加登録ができること
- 2-4-9. 単位の設定
 - ・食品ごとに単位当りのグラム数を設定でき、料理・献立の作成の際に使用できること
 - ・食品ごとに使用単位での学齢区分別換算分量の設定ができること
- 2-4-10. 発注単位の設定
 - ・食品ごとに複数の発注単位を登録でき、発注処理時に自動計算できること
 - ・食品ごとに発注用食品区分、見積物資形態、発注方法（まとめ発注/通常発注）、発注単位、発注計算方法（まるめ桁数/端数処理）、納品日（当日～3日前）、検食分量、破損割増などの設定ができること
- 2-4-11. 発注対象外の設定
 - ・食品ごとに発注処理の対象外とする設定ができること
- 2-4-12. 単価の登録
 - ・食品ごと、発注単位、発注グループごとに単価登録できること
- 2-4-13. 食品の使用履歴
 - ・食品の使用履歴を表示でき、必要に応じて、他食品への一括変換ができること
- 2-4-14. 一覧画面表示
 - ・一覧画面に、登録食品を一覧表示でき、印刷用名称や見積情報、発注情報等の主要項目の編集ができること
 - ・一覧画面での絞り込み検索（検索区分、名称など）ができること
 - ・一覧画面から、食品データへのジャンプができ、参照のほか編集・登録できること

2-5. 栄養管理

- 2-5-1. 給与目標量の設定
 - ・「日本人の食事摂取基準 2020」に対応していること
 - ・給与栄養目標量（基準値）の自動計算ができること
 - ・モデル摂取基準を年齢別に複数設定できること
 - ・文部科学省の最新の「学校給食実施基準」に対応し、学齢ごとに基準値設定ができること
 - ・PFC比率を利用し、たんぱく質、脂質、炭水化物量の設定ができること
 - ・献立画面に学齢ごとの栄養摂取値と基準値の表示ができ、チャートでの比較ができること
 - ・最新の栄養週報様式1・2・3に対応した週報作成ができること

2-6. 食数管理

2-6-1. 食数

- ・学齢、献立種類、児童・クラス担任ごとに「主食」、「牛乳」、「給食」に分けて、基本食数登録ができること。
- ・「主食」、「牛乳」を分けて食数管理するか、設定にて選択ができること
- ・曜日別の講師の来校に対応し、基本食数への曜日別追加食数設定ができること
- ・画面上で、学校ごとに児童のみ、担任のみ、合計のみなど絞り込んだの表示ができること
- ・クラス数の変更登録が年度毎にできること
- ・クラス名称の登録ができること
- ・画面表示の内容を、エクセル帳票として出力できること
- ・日ごと実施食数は、基本食数を自動反映し、「基本食数からの差分入力」「実施食数入力」から選択できること
- ・食数集計画面で、表示する学校の選択ができ、日々の実施食数を一覧画面の表形式で確認できること
- ・日ごとの単位の欠食や、範囲を指定しての欠食情報登録ができること
- ・表示絞込みは、共同調理場（自校調理校を含む）、献立ブロック、発注ブロックごとに指定でき、表示する学校の選択もできること

2-7. アレルギー児童管理

2-7-1. 児童データの登録

- ・児童の個人登録ができること
- ・児童ごとに対象アレルギー設定ができること
- ・児童ごとに、喫食予定とする、アレルギーパターン食の選択ができること
- ・アレルギー対応食作成以外に、指定アレルギーに対しての情報提供必要児童の登録ができること
- ・登録児童のアレルギー履歴管理ができること
- ・登録した児童を一覧表示できること
- ・献立（基本食/アレルギー対応食）に含まれるアレルギー内容と、個人の保有するアレルギー情報から、喫食する献立（もしくは喫食無し）を自動判定し、喫食管理画面に表示できること。
また、手動による変更も可能であること。
- ・登録した児童のアレルギー情報を、進級または転校により異なる学校管理の児童として引き継ぎ登録ができること。
- ・個人登録画面の表示、印刷実行の際の操作ログが出力されること

2-8. 見積処理

2-8-1. 見積り食品の選択

- ・食品ごとに見積もり処理の（要/不要）の選択ができ、見積依頼の際の情報（見積形態、産地、成分表添付、アレルギー情報添付、サンプル、食品メモ）を設定できること
- ・入札価格が最安値業者の自動選択と、選定理由の登録ができること

2-8-2. 見積り期間の設定

- ・見積形態（年/半期/学期/月/半月）を選択でき、形態ごとに期間設定ができること

2-8-3. 単位の変更

- ・食品ごとに見積もり単位設定ができること

2-9. 発注処理

2-9-1. 納入業者の登録

- ・納入業者を随時登録でき、業者ごとに（休日・発注用食品区分）の登録ができること
- ・食品ごとに納入業者の登録ができること

2-9-2. 発注処理

- ・食品の発注グループごとに登録発注業者を自動表示し、発注業者の休日設定に応じて発注日の自動調整ができること
- ・納入業者/納品日/分量変更/食品追加（削除）など、発注データの変更ができること
- ・発注画面に見積情報での地産指定の表示ができること
- ・食品ごとに、発注分量のまとめ方（まとめ発注/通常発注[献立名ごと]）を選択できること
- ・まとめ食品については、指定期間の使用量を集計して発注できること
- ・通常発注食品については、日毎発注分量を自動計算表示できること
- ・料理ごとに食材の発注分量を分けるかの選択ができること
- ・地産食材の入荷情報の登録ができ、地産食材の納入実績の集約ができること

2-9-3. 発注書の印刷

- ・発注書の様式を自由に設定でき、必要に応じて複数の様式登録ができること

2-10. 釜分け処理

共同調理場で利用する場合、釜分け処理ができること

- ・料理ごとの釜数を設定すると、指定した分割単位（クラス、学年、学校）毎の換算食数から釜ごとの献立人数、食材分量、料理配缶を自動計算できること
- ・釜分け結果の釜番号を手動で変更できること
- ・学校の配送順指定ができること

2-11. 残食管理

指定した単位（学校・学年・クラス）での残食管理ができること

2-11-1. 残食管理

- ・残食管理をおこなう単位（学校・学年・クラス）の指定ができること
- ・日毎の献立の料理別に、指定した残食管理単位別の残食量の記入用紙の作成ができること
- ・日毎の献立の料理別に、指定した残食管理単位別の残食量の登録ができること
- ・月別に学校別の残食量表の作成ができること
- ・年間の集計帳票として残食量年計表の作成ができること

2-12. 帳票出力

下記の帳票類の出力ができること

2-12-1. 献立関連帳票

- ・予定献立表
- ・アレルギー予定献立表
- ・アレルギー予定献立表（個人）
- ・配布用献立表
- ・月間献立表
- ・月間献立表（材料展開）
- ・月間献立表（カレンダー）

- ・調理指示書
- ・調理作業工程表
- ・検食簿
- ・クラス別給食人数表
- ・基本食数（画面 Excel 出力）

2-12-2. アレルギー関連帳票

- ・アレルギー対応食確認表（学校別）
- ・アレルギー対応食確認表（個人別）

2-12-3. 個人関連帳票

- ・アレルギー個人リスト

2-12-4. 発注関連帳票

- ・給食物資見積書
- ・給食物資見積結果表
- ・給食物資単価確認書（業者別）
- ・給食物資発注書
- ・検収記録簿

2-12-5. 報告書関連帳票

- ・月報（栄養摂取量・出納表）
- ・残食量表
- ・栄養週報様式 1
- ・栄養週報様式 2
- ・栄養週報様式 3
- ・地場産物・国産食材の使用状況調査

2-12-6. 基本データ関連帳票

- ・食品一覧（栄養素付き）
- ・料理一覧
- ・料理カード（画像付）
- ・料理カード
- ・納入業者一覧表

2-12-7. CSV データ出力

- ・食品一覧表（栄養素なし）
- ・アレルギー食材一覧表
- ・料理一覧表
- ・概算単価登録
- ・業者別単価登録
- ・月間献立作成
- ・献立情報（データ出力）給食ナビ
- ・献立情報（データ出力）推奨データセット
- ・発注書（データ出力）

2-13. 連携ファイルの出力

下記の連携ファイルの出力ができること

オープンデータの推奨データセット「学校給食献立情報」

※内閣官房が検討・公開し、今後データ活用アプリとの連携が可能。

政府 CIO ポータル「推奨データセット」

<https://cio.go.jp/policy-opendata#dataset>

別紙2 セットアップ

1 要件

- (1) 各学校において現在使用している次のパソコンに学校給食管理システム・ソフトウェアをインストールすること。
 - ① OS は、windows10 である。
 - ② CPU は、celeron プロセッサー N4020 である。
 - ③ メモリーは、4GB である。
 - ④ HDD は、Lenovo ideapad D330-10IGL である。
 - ⑤ Microsoft Excel 2016 以降がインストールされている。
- (2) 学校給食管理システムソフトウェアに必要なミドルウェア（データベースソフト等）がある場合は、受注者が手配すること。本市が基本的な設定を行ったハードウェア上（OS インストール済み）に栄養管理システムと合わせてミドルウェアについても受注者がインストールし、正常に稼働させること。
- (3) データバックアップは自動でおこなわれていること。（毎日、指定時間に取得）

別紙3 サポートサービス

1 サポート

(1) システムに係る運用サポート

- ① 操作マニュアル等の必要となるドキュメントの作成
- ② 操作研修及び職員への指導を1度実施すること

2 サポートサービス提供時間

サポートサービスの提供時間には、月曜日から金曜日までの9時00分～17時30分までが含まれること国民の祝日に関する法律に定める休日、12月29日～31日及び1月2日～3日など、サポートサービスの実施が困難な場合、サポート責任者への連絡が可能な状況対応であること) ただし、緊急の場合はこの限りではない。